

学位論文及び審査結果の要旨

横浜国立大学

氏名	蔣 瑜潔
学位の種類	博士（技術経営）
学位記番号	環情博甲第1864号
学位授与年月日	平成29年12月22日
学位授与の根拠	学位規則（昭和28年4月1日文部省令第9号）第4条第1項及び 横浜国立大学学位規則第5条第1項 （論博の場合は第2項）
学府・専攻名	環境情報学府 環境イノベーションマネジメント専攻
学位論文題目	外部経営資源の活用を通じた後発企業の技術能力構築プロセス —吉利汽車のM&Aと提携を通じた成長戦略—
論文審査委員	主査 横浜国立大学 教授 周佐 喜和 横浜国立大学 教授 安本 雅典 横浜国立大学 准教授 遠藤 聡 京都産業大学 教授 具 承桓 横浜国立大学 教授 河野 英子

論文及び審査結果の要旨

平成28年11月10日、午後1時30分より、総合研究棟S511室において、審査委員全員の出席のもと、学位論文審査会および最終試験を実施した。

本論文は、中国の吉利汽車を事例にして、後発企業がM&Aと提携を通じて先進国の企業から技術導入を図る際の独自のマネジメントについて探求している。その結果、本論文の第二部では、M&Aを実施する際に、完全な組織統合も完全な独立経営も志向せず、統合する部分を限定し、時間の進展とともに統合する部分をダイナミックに変えていく、同社のマネジメント方式が明らかになった。また、第三部では、短期間に多数の企業とのM&A並びに提携を続けていく中で、経営資源の分散を回避しつつ、着実に技術能力を向上させていくマネジメントについて検討する中で、技術導入と定着においてユニークな役割を果たすコア人材の存在と、一般ワーカーへの教育を徹底させる独自の学校の整備がキーとなることを見出した。本論文を通じて、基本概念の定義や先行研究の取り上げ方などに詰めの甘さが見られ、今後の課題が残っていることは否定できないが、独自に研究テーマを設定して研究を主体的に進めていく能力は備わっているものと判断した。

最終試験では、学位審査論文の内容についての審査委員からの質問事項ならびにコメントに対する対応は適切であると判断されたこと、国際学会での英語口頭発表があることから外国語能力も十分と判断されたこと、及びその他の業績と合わせて専攻の学位審査の基準満たしていると判断されたことから、博士（技術経営）の学位の授与に十分であると結論した。

注 論文及び審査結果の要旨欄に不足が生じる場合には、同欄の様式に準じ裏面又は別紙によること。